

第7回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和5年10月26日(木) 午後3時30分～午後4時30分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室2
出席委員	菊地委員、阿部委員、前田委員、恩田委員、佐久間委員、清水委員、小熊委員、川島委員、佐藤委員
欠席委員	横山委員
事務局 関係課	阿部建設課長、本田北出張所長、 地域総務課(中川課長補佐、菊地係長、藤井主査、神田副主査、伊藤副主査)
会議要旨	<p>●新潟県新潟地域振興局地域整備部治水課 課長代理 加藤 敢士様、同課福島潟放水路管理所 市川 雄三様より、「福島潟周辺整備事業、福島潟放水路や新井郷川の役割 について」講演いただいた。</p> <p>新井郷川・福島潟の概要、近年の治水事業、福島潟の整備に関すること、福島潟放水路の仕組みなどについて、詳細に説明いただいた。</p> <p>その後質疑応答と意見交換を行った。</p> <p>北区の治水にかかる特性を学ぶことができ、今後、北区民を対象とした防災事業を考えるにあたり大いに役立つ内容であった。</p> <p>参加者(地域づくり部会9名ほか、事務局5名、傍聴北区職員11名 計25名)</p> <p>●今後の部会の日程調整について</p> <p>11月:長岡震災アーカイブセンターきおくみらいへの視察研修 →11月10日(金)の行程について案内</p> <p>また、11月22日(水)の部会は休会とする旨、了承を得た。</p> <p>12月の部会は9月～11月の調査・研究のまとめを行い、1月～2月はワークショップを実施する。</p>

第 7 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 5 年 10 月 26 日 (木) 午後 3 時 10 分～午後 3 時 50 分
会場	北地区コミュニティセンター 2 階大ホール
出席委員	清水部会長、遠藤副部会長、佐藤(康)委員、此村委員有田(一)委員、佐藤(茂)委員、三浦委員、佐藤(哲)委員 8 人
欠席委員	竹島委員、日下委員
事務局	高山健康福祉課長、渡辺豊栄地区公民館長、近藤地域総務課長補佐、深沢 (地域総務課)
会議要旨	<p>(1) 自治協議会委員提案事業について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 目的 <ul style="list-style-type: none"> ○定年退職後の人や地域活動に興味はあってもなかなか一步を踏み出せない人が、活動を始められるように後押しするため ○社会貢献意識を醸成するため ○地域活動の担い手を育て、地域活動そのものの継続・発展につなげる 2. 対象 <p>定年退職前後の北区民、興味のある方</p> 3. 内容 <p>人を集めるための催し物とその中で興味ある人にボランティア実践講座</p> <p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践講座は「子ども向け」が入りやすい。 ・地域の祭りにボランティアとして参加している人から具体的な話を聞く。 ・地域のリーダー的な人から声掛けなどして広める。「参加して楽しい」を伝える。 ・集客力のある人を人選。今は定年後も働く。40～50 代から意識をもってもらうために子ども育成会などにも働きかけてみる。 <p>(2) 新潟医療福祉大学との連携講座企画案について 新潟医療福祉大、佐藤成登志教授に相談。学内の会議で検討中。結果待ち。</p> <p>(3)新潟医療福祉大学施設見学について 11 月 22 日(水) 午後 3 時～4 時 20 分ころ ※本会議終了後各自現地集合 見学場所予定…図書館・カフェテリア・鍼灸センター・トレーニングセンターほか</p>

第 7 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 5 年 10 月 26 日（木曜） 午後 3 時 10 分～午後 4 時 00 分
会 場	北地区コミュニティセンター 講座室 1
出席委員	伊藤委員、小日向委員、飛鳥井委員、野口委員、諏訪委員 寺山委員、坪木委員、小林委員
欠席委員	石山委員、有田委員
事務局 関係課	東理副区長、産業振興課（横木課長）、地域総務課（佐藤）
会 議 要 旨	<p>1. 次年度事業について（テーマ・概要）</p> <p>○浜料理 VS 潟料理 （意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の魅力も伝える場もあるといい。 ・できるだけ多くの人に伝えたい。 ・料理だけでなく、お菓子屋さんも入ってもらいたいのではないか。 ・魅力発信のために、イベントを生配信するなどその場だけでなく参加できるようにしてはどうか。 ・若者も食べやすいメニューにしてはどうか。 ・素人の人から浜・潟の素材を使ったメニューを考えてもらうのもいいのではないか。 <p>・そのイベントだけで終わらず、継続できるものもやりたい。</p> <p>・これまで視察してきた海辺の森や福島潟の魅力を語るトークセッションをやってはどうか。その際に魅力を伝えやすいように動画を流すなど工夫する。</p> <p>・料理の試食を会場の人たちにもしてもらい、あわせてお店でも食べられるようにして、スタンプラリーで巡ってもらうようにする。お店だけでなく海辺の森などの施設なども加えて、スタンプラリーの台紙をマップのようになるなど見ても魅力がわかるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者から参加してもらい、魅力発信の配信など行ってほしい。 ・スタンプラリー達成者に、北区の魅力のある景品を送る。 <p>【次 回】 自治協委員企画のトークセッション等の詳細内容を検討する。</p>